

凡事徹底・活力・環境

令和 8年 1月30日

No.11

五小だより

<http://5s.hyama.andteacher.in>

東大和市立第五小学校

TEL (042) 562-1981

FAX (042) 590-7022

～知るといふこと～

校長 平松 新太郎

まもなく立春を迎えます。暦の上では春とはいえ、まだまだ厳しい寒さが続いています。いかがお過ごしでしょうか。

さて、五小では1月13日（火）に4年生が総合的な学習の時間でパラスポーツ体験を行いました。講師に、車いすバスケットボールの橋貴啓選手をお招きし、共生社会の気付きや学びの場を提供していただきました。

まず、パラスポーツのデモンストレーションとして、車いすの基本操作を教えてくださいました。車いすを利用したことのある児童は少なく子供たちは皆、興味津々でした。

次に、実際に子供たち一人一人が車いすを操作し、全員リレーを行いました。また、代表児童同士の試合、さらに、橋選手1人対教員10人で、車いすバスケットボールの試合をしました。車いすバスケットボール独自のルールや、進む・止まる・Uターンする等、基本的な動作を教わって臨みましたが、教員チームが惜しくも1点差で負けました。

競技用の車いすに乗って、その「面白さ」や「難しさ」を体験するとともに、応援する側も一体感を味わい、難しいことにも一生懸命取り組むことの大切さを学びました。

最後に、パラアスリートであるご自身の立場から「夢や目標を持つ力」を中心に講話をいただきました。橋選手の現在の目標は現在所属する車いすバスケットボールチーム「NO EXCUSE」のメンバーとして3月に行われる天皇杯で優勝することだとおっしゃっていました。また、これからの目標として、共生社会実現に向け、車いすバスケットボールの存在をこれまで以上に広げていきたいというお話もうかがいました。

私は特に次の2つに感銘をうけました。一つは、今、夢や目標がはっきり持てなくても、日々の勉強や生活を精一杯頑張ることが、夢や目標が持てた時に必ず役に立つということ。もう一つは、大人にも夢や目標があること（大人になることがいかに素晴らしいか）です。

私は車いすバスケットボールの存在は知っていましたが、実際に見たり体験したりすることで、その面白さや難しさの一端を実感することができました。また、講和をうかがうことで、これまでの自分とは違う視点で、車いすバスケットボールや車いすバスケットボールを取り巻く環境を知ることができました。

今回の活動を通して、知識（知ること）だけでは解決しない、実際に橋選手をはじめ講師の方々と接する中での対話を通じた理解（知ること）がたくさんありました。そして、今回のような経験の積み重ねが「心のバリアフリー」につながると思いました。